

6.デリバティブ取引（ヘッジ会計適用分）の概要【単体】

		(億円)				(億円)			
		14年9月末				14年3月末			
		資産	負債	ネット 評価損益 -	繰延べて いる損益	資産	負債	ネット 評価損益 -	繰延べて いる損益
金利スワップ		7,314	2,388	4,926	1,531	7,500	2,843	4,657	988
通貨スワップ		4,206	4,054	152	132	4,380	4,141	239	173
その他		747	781	34	122	357	406	49	231
合計		12,267	7,223	5,044	1,541	12,237	7,390	4,847	930

(注) 1. デリバティブ取引については、「金利スワップの特例処理」を適用しているものを除き、時価をもって（中間）貸借対照表価額として計上しております。（上表のと）

2. 損益処理方法については、以下のとおりであります。

- ・ヘッジ会計の方法として、主にマクロヘッジの一手法である「リスク調整アプローチ」を適用し、繰延ヘッジ会計処理を行っております。
- ・繰延ヘッジ会計処理とは、ヘッジ手段であるデリバティブ取引の損益（時価会計）のうち、ヘッジ対象の損益（発生主義会計）に対応しない部分を資産又は負債として繰延べる方法であります。
具体的には、デリバティブ取引に係るネット評価損益（上表の - ）から発生主義会計の場合に計上する経過利息相当額を除いた金額が繰延べている損益（上表の ）となります。
- ・ヘッジ対象の受払条件を変換することを目的とし、想定元本、利息の受払条件及び契約期間等について一定の要件を満たすスワップ取引については金融商品会計基準に基づく「金利スワップの特例処理」により時価評価せず、従来と同様に発生主義により損益を認識しております。

(補足)金利スワップ(繰延ヘッジ会計適用分)の残存期間別想定元本は以下のとおりであります。

		(億円)				(億円)			
		14年9月末				14年3月末			
		1年以内	1年超 5年以内	5年超	合計	1年以内	1年超 5年以内	5年超	合計
受取固定・支払変動		272,341	220,917	41,941	535,199	269,898	238,946	27,543	536,387
受取変動・支払固定		250,330	90,372	26,527	367,229	157,862	95,303	28,014	281,179
受取変動・支払変動		211	7,093	445	7,749	1,335	6,515	2,451	10,301
金利スワップ想定元本合計		522,882	318,382	68,913	910,177	429,095	340,764	58,008	827,867